



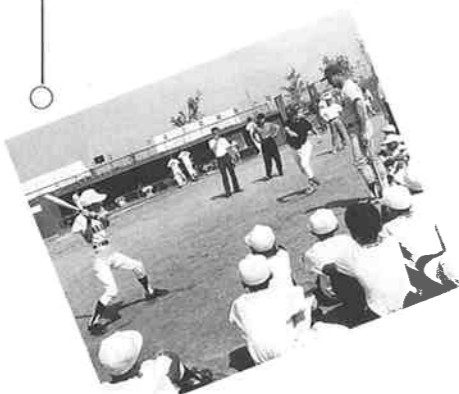
## 農産物の収穫体験ツアー

農産物の収穫体験で、「新鮮、安全、おいしい」地元の農産物と農業を知ってもらおうと、九月十六日農産物収穫体験ツアーが行われました。秋晴れの中、三十人の消費者のみなさんが参加して、なし、ぶどう、ミニトマト、コンヒカリの収穫を楽しんでいました。



## 元プロ野球選手を講師に少年野球教室を開催

九月十六日、木崎野球場で第三回東京六大学新潟県OB野球大会が開催され、合わせて少年野球教室も行われました。市内のチビッ子選手は、元プロ野球選手の小川邦和さん（元読売ジャイアンツ投手）と山下大輔さん（元大洋ホエールズ内野手）から、守備、バットイング、打球フォームの指導を真剣に受けていました。



## 異常現象?????

五十センチの「シロハツタケ」  
九月初旬、尾山の妙見寺の境内で、五十センチメートルのシロハツタケが取れました。食べるとシャキシャキしておいしいシロハツタケは、普通十五〜二十センチメートルです。このシロハツタケは、食べられるのかな。



四・五キロの「さつまいも」  
九月十二日、下土地亀の池田栄作さんの畑から、なんと四・五キログラムのさつまいもが取れました。池田さんは「普通一キログラム程度です。生育条件が良かったのでしょうか」と、驚いていました。

## 祝四農協合併予備契約調印式典



## 市内四農協が合併予備契約

九月二十二日、総合体育館で市長立ち会いのもと、市内四農協の合併予備契約調印式典が行われました。来年の二月には豊栄市農業協同組合として出発することになります。

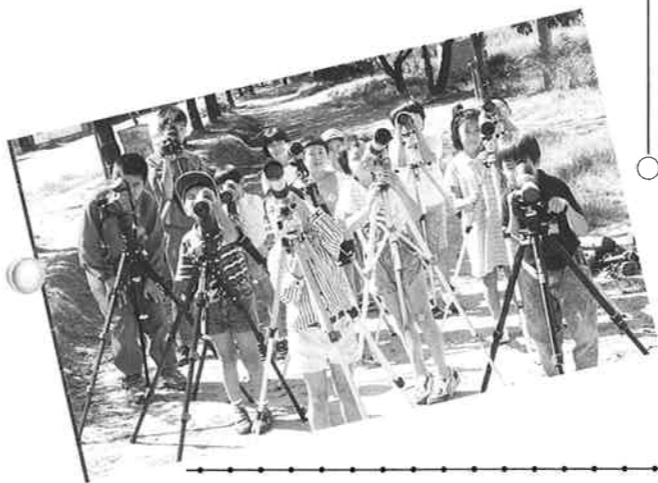
四農協を代表してあいさつした農協連絡協議会長の馬場木崎農協組合長は「米市場の解放、金利の自由化、他業種との競争など厳しい情勢に対応し、二十一世紀を展望した次代を担う組織をつくらなければなりません」と、新農協結成へ決意を示しました。

新農協は、正組合員戸数三千五百八十八戸、預金高百八十三億円となり、県内でも有数の規模を誇る新農協となります。

## コミュニティー助成事業でビデオを購入

（財）自治総合センターが行っているコミュニティー助成事業で、平成二年度は上嘉山子ども会育成会（会長横山山人）が、ビデオ装置（フィールドスコープ一式（二百万円相当））を購入しました。

この事業は、宝くじの収益金の一部を活用し、地域的な連帯感に基づいて実施されているコミュニティー活動に対して、必要な施設器具等の助成を行っているものです。上嘉山子ども会育成会では、この機器を利用して、野鳥の観察や自然植物の学習に役立てる予定です。



## とびうめ国体に五選手が出場

今月二十一日から、第四十五回国民体育大会（とびうめ国体）が福岡県で開催されます。この大会に新潟県代表として、市内から出場する五選手の抱負や目標を紹介します。



伊藤 史さん  
(早通北4・日体大1年)

「今年、五月のインターカレッジの四百メートルリレーで優勝しました。今回は上位入賞を目標に頑張ります」  
卓球（成年女子一部）



川瀬 正子さん  
(上土地亀・21歳)

「予選リーグを勝ち抜き、決勝トーナメント出場をめざして、悔いのない試合をやるつもりです」  
弓道（少年男子）



高橋 正人君  
(白新町4・西新発田高校3年)

「高校生で最後の大会ですので、あとで後悔しないよう一杯頑張りたいと思います」



長谷川 知君  
(中大口・北越高校3年)

「うちの高校からは僕一人なので、いつも練習してきた仲間の分まで、ガッツとファイトで頑張ってます」  
クレイ射撃（スキート）



清野 昭夫さん  
(須戸・41歳)

「天皇杯の得点に結びつく入賞を目標として、頑張るつもりです」  
なお、監督として馬術に中村喜尚さん（東栄町三・四十八歳）とアーチェリー（少年男子）に新堀均さん（朝日町一・四十二歳）が国体に出場します。



常木 常太郎さん  
(白新町3・68歳)

九月二十九日から滋賀県で開催されたこの大会は、高齢者の健康増進などを目的に行われているものです。試合は団体戦で行われ、決勝トーナメントに出場しましたが、広島県に惜敗しました。

## 第三回全国健康福祉祭 びわこ大会将棋部門に参加